

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	上部消化管外科学 Upper gastrointestinal surgery	DM_1428	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	--	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎深川 剛生 福島 亮治		清川 貴志	堀川 昌宏	
ちば		◎首藤 潔彦			
-					

	上部消化管外科学Ⅰ（1年次）				上部消化管外科学Ⅱ（2年次）				上部消化管外科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	外科学全般の基本的な知識と技術を習得し、さらに専門的な消化器外科における幅広い知識、技術を修得する。外科手術後の病態生理を理解する。外科手術の適応や合併症・後遺症について学ぶ。主要な外科手術の術前術後管理が実践できる能力を身につける。				周術期の全身管理、消化管造影検査、内視鏡検査、超音波検査等を実施できる能力を身につける。また標準的な消化器外科手術を独立して術者として施行できる能力を身につける。基本的な消化器外科手術を術者として実施する。消化器癌(特に胃癌、食道癌)の抗癌化学療法について学ぶ。				難易度の高い手術を指導医の指導のもとに術者として施行できる能力および術後の重篤な合併症に対応する能力を養成する。倫理、医療安全に貢献できる能力を養成する。常に科学的な目をもち、臨床上の疑問に答えるべく、最新の情報を生産、発信する能力および後進を指導教育する能力を身につける。			
到達目標	1. 外科手術の適応、術後の病態生理、合併症・後遺症を理解し、症例検討会で受け持ち症例について説明し、討論ができる。 2. 上級医の指導のもと入院患者の初期対応、診察、検査の計画立案とを実行できる。 3. 基本的な消化器一般外科手術の助手および一部の術者を務めることができる。 4. 図書館やネットで文献検索ができる。				1. 消化器の造影検査、内視鏡検査、超音波検査等を責任をもって施行できる。 2. 標準的な消化器外科手術(胃切除、大腸切除、胆嚢摘出、その他)を術者として実施できる。 3. 胃癌、食道癌の術前術後補助化学療法を計画し施行することができる。				1. 難易度の高い手術(胃全摘術、食道切除術、その他)を、指導医のもとで術者として実施でき、術後の重篤な合併症に対しても的確に対応できる。 2. 倫理、医療安全に関し的確に対応できる。 3. 関連分野の臨床試験の趣旨を理解し実際に参加できる。 4. 当該分野の研究計画を立案実施できる。 5. 卒前卒後教育を責任をもって担当できる。			
事前事後学修	成書を読み上部消化管疾患の基礎知識、手術術式、術前術後管理法を理解する。疑問点について文献を検索して調べる。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				主な上部消化管手術法、検査法についてビデオ等を見て理解する。抗癌薬治療について基礎知識を習得する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				食道癌などの高度な外科手術の方法をビデオ等を見て理解する。科学的な研究方法やその評価法について学習する。実際の医学論文を読み批判的に評価する習慣をつける。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	症例検討会における発表、討議(40%) 実習・演習における履修態度(40%) 指導教官の面接(10%) レポート(10%)				症例検討会における発表、討議(40%) 実習・演習における履修態度(40%) 指導教官の面接(10%) レポート(10%)				症例検討会における発表、討議(40%) 実習・演習における履修態度(40%) 指導教官の面接(10%) レポート(10%)			

■主な演習(講義・実習含む)

	上部消化管外科学Ⅰ (1年次)	上部消化管外科学Ⅱ (2年次)	上部消化管外科学Ⅲ (3年次)
板橋	火 曜日 7 : 00 ~ 8 : 00 上部消化管外科学概論	水 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 上部消化管外科学特論	木 曜日 16 : 00 ~ 18 : 00 外科感染症学特論
	月 曜日 9 : 00 ~ 16 : 00 外科手術	火 曜日 9 : 30 ~ 12 : 00 内視鏡検査	水 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 外科処置
	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 臨床カンファレンス	火 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 症例検討会・抄読会	木 曜日 7 : 30 ~ 9 : 00 症例検討会・回診
	月 曜日 18 : 00 ~ 19 : 00 周術期管理	火 曜日 18 : 00 ~ 19 : 00 画像診断	水 曜日 18 : 00 ~ 19 : 00 臨床腫瘍学
ちば	月 曜日 7 : 45 ~ 18 : 00 外科臨床・全身麻酔手術	火 曜日 7 : 45 ~ 18 : 00 外科臨床・全身麻酔手術	水 曜日 7 : 45 ~ 18 : 00 外科臨床・消化管検査
	木 曜日 7 : 45 ~ 18 : 00 外科臨床・全身麻酔手術	金 曜日 7 : 45 ~ 18 : 00 外科臨床・全身麻酔手術	土 曜日 7 : 45 ~ 12 : 00 外科臨床・消化管検査
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

Schwartz's Principles of Surgery
Sabiston Textbook of Surgery: The Biological Basis of Modern Surgical Practice

その他履修上の注意事項

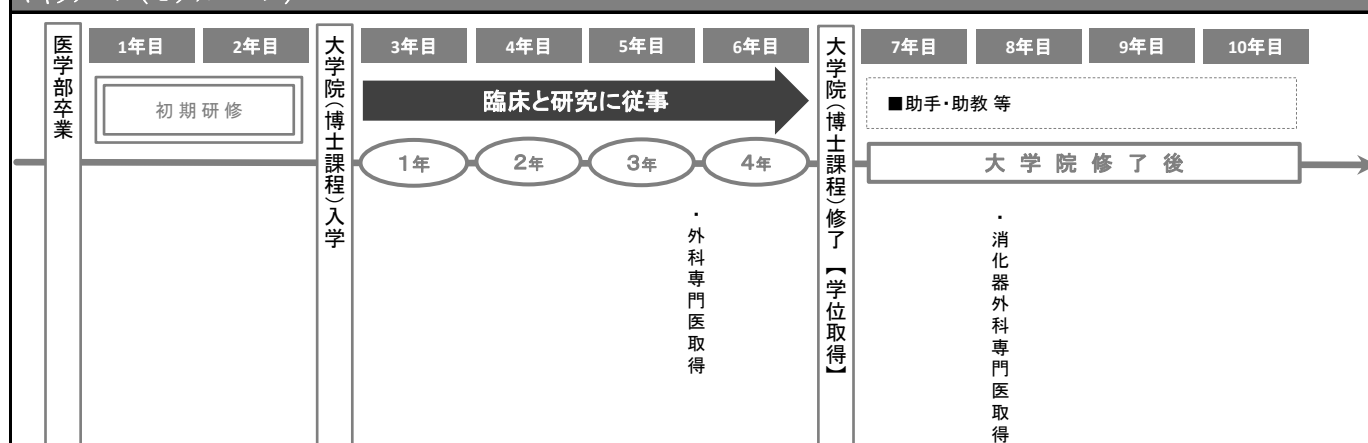
関連領域の学会や研究会に積極的に参加することを奨励する。また指導教官と相談の上、適切な学会や研究会に演題を応募し研究報告を行う。可能であれば海外の学会で発表する。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	外科学総合、肝胆膵系・移植外科学、乳腺腫瘍学・下部消化管外科学、小児外科学、内視鏡外科学、呼吸器外科学、心臓血管外科学、臨床腫瘍学、外科・手技
	共通科目	外科学概論、腫瘍治療学特論、消化器疾患特論

関連する専門医資格

消化器外科学会専門医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、癌治療認定医、静脈経腸栄養学会認定医、外科周術期感染管理認定医

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。